

森林整備における安全管理研修会・(北部林業事務所印旛支所)

大項目	小項目	内 容
活動日時		2019年 2月14日(木) 10:00~15:00 晴 場所:佐倉草ぶえの丘
活動の記録	活動内容	○講義:安全は組織のトップからーヒューマンエラーと指差呼称:藤本労働安全コンサルタント ○安全で確実な伐木造材と安全対策の指導方法:北部林業事務所印旛支所 普及指導員(受口の作成とその評価方法、チェーンソーの整備手順と方法)
	講義の内容	①林業の災害発生状況(H29年、年千人率(建設業の8倍)、50歳以上が多い) 死傷の起因別分析(立木等、チェーンソー)、伐木、掛り木処理の死傷事故(ビデオで) ②安全とリスク:安全とは?リスクとは? ③ヒューマンエラー:人間の特性、1)注意の失敗、2)記憶の失敗、3)計画段階の失敗 ④人間の特性知ってる?:知覚(脳)の限界ー視覚(ポンゾ錯視、ザンダー錯視、立体感、距離感、視線の中心、エンボスドリフト錯視等) ⑤注意の容量:容量は小さい、狭い ⑥予測していない物は見えない ⑦防げる設備・守れる装備:下肢防護衣は着用義務化 ⑧指差呼称はなぜしなければならないのか?:事故が減る ⑨指差故障でなぜエラーが減るか?:注意が向く、方向づけ、確認の信頼性、脳の覚醒 ⑩リスクアセスメント:目的と留意点、危険源の特定、チェックリストの作成等 ⑪リスクアセスメント:対策検討順序 ⑫リスクアセスメント:積算法リスク点数と手順書作成 ⑬法改正点:1)下肢防護衣の着用義務化、2)特別教育の改正(既受講者の追加特別教育) 3)樹高の2倍範囲は立入禁止、4)掛り木の浴びせ倒しは禁止などの掛り木処理、 5)胸高直径20cm以上伐木では受口を作る事、6)ツルを残して追い口を伐り伐倒する。 午後からの実習 ・チェーンソーによる立木の受口作り:立木伐採までの身につけて欲しい技術と知識の指導 受口を1か所作る:他者がその受口を評価する(水平か?水平と斜切りの会合線が一致、受口の方向が正確か?) ・チェーンソーの掃除、整備、目立て実習:チェックリストと工具の使用方法等

佐倉草ぶえの丘での講義



講師の藤本吟蔵氏

受口を作る

森の中で受口作成の説明

隣地の駐車場で実習の説明



チェーンソーの整備